

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	文学研究科
大項目	5 学生の受け入れ (研究科)
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 3専攻12領域(後期課程11領域)の適切な収容定員について検討し、学生数を安定的に確保する。	→ 専攻別、入学定員充足率、領域別入学者数、在籍大学院生数と収容定員の割合。	B	B	B		
2. 新基本構想「垣根なきラーニングコミュニティ(学びと探求の共同体)」で学ぶ大学院生像を具体化する。	→ 大学院入試におけるアドミッション・ポリシーの明文化と周知度。	C	C	B		
3. 大学院受験者枠(一般・特別(外国人)・社会人・推薦)の募集方法および入学者選抜方法の適切性を確保する。	→ 各受験者枠における志願者、合格者、入学者の収容定員に対する割合。	B	B	B		
4. 文学研究科における科目等履修生制度を導入する。	→ 資格申請のために必須となる科目の特定化とWEB上シラバスでの科目等履修許可の明示。	C	B	B		
				☆		
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

## 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2011年度(2012年4月)の入学人数は、前期課程が入学定員64名に対して56名、後期課程が入学定員20名に対して15名であった。一方、在籍大学院数は前期課程が120名(収容定員の94%)、後期課程が43名(収容定員の72%)である。前期課程の在籍大学院生数が適正に管理されているのに比べて後期課程の収容定員の割合が低い点が気になる。ただし、後期課程の入学人数は2010年度よりは増加した。
目標2	文学研究科では、前期課程においては高度な専門的知識を教授することによって知識基盤社会を支える知的な素養を持つ人材を育成し、後期課程においては研究のさらなる深化・発展を通じて現代の高度な学問の進展に応じた博士学位を持つ研究者を養成することを目指しており、それらを同研究科のアドミッション・ポリシーとして明文化、2012年度入学試験要項に記載している。
☆ 目標3	正規学生(一般・推薦)・社会人・外国人留学生を対象として、前期課程は9月と2月に入学試験を実施、後期課程は2月に実施している。学生募集の方法としては大学院案内や文学研究科のホームページを用いるほかに6月と11月に入試説明会も開催している。入試の実施にあたっては問題の作成から筆記試験の実施、面接、採点および選抜にいたるまで厳格で透明性の高い手続きを踏んでいる。また過去問の公表も行っている。
目標4	文学研究科の科目等履修生制度は2011年度から始められ、書類選考、面接、研究科委員会の議を経て履修が許可される。初年度の2011年度(2セメスター)は1名が計2科目4単位を履修し、単位を修得した。
備考	

## 《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【文学研究科】		前期/後期課程	単位	2008	2009	2010	2011	2012	備考
指標1	入学定員	前期課程	名	64	64	64	64	64	・5/1現在
		後期課程		20	20	20	20	20	
指標2	志願者総数	前期課程	人	100	71	66	81	79	・5/1現在
		後期課程		19	18	23	9	19	
指標3	合格者数	前期課程	名	72	50	53	58	60	・5/1現在
		後期課程		17	15	22	9	17	
指標4	入学人数	前期課程	名	68	41	52	57	56	・5/1現在
		後期課程		17	15	22	9	15	
指標5	志願者倍率	前期課程	倍	1.6	1.1	1.0	1.3	1.2	・5/1現在 ・志願者÷入学定員
		後期課程		1.0	0.9	1.2	0.5	1.0	
指標6	入学定員に対する入学人数比率(5年間平均)	前期課程	倍	0.90	0.86	0.84	0.83	0.86	・5/1現在 ・入学人数÷入学定員
		後期課程		1.16	1.00	1.02	0.85	0.96	
指標7	入学人数に占める一般入試入学人数の比率	前期課程	%	77.9%	63.4%	80.8%	61.4%	71.4%	・5/1現在 ・一般入試入学人数÷入学人数
		後期課程		41.2%	53.3%	31.8%	33.3%	40.0%	
指標8	収容定員	前期課程	名	128	128	128	128	128	・5/1現在
		後期課程		60	60	60	60	60	
指標9	在籍学生数	前期課程	名	130	116	111	117	120	・5/1現在
		後期課程		62	52	56	43	43	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	前期課程	%	101.6%	90.6%	86.7%	91.4%	93.8%	・5/1現在
		後期課程		103.3%	86.7%	93.3%	71.7%	71.7%	